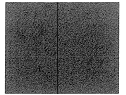


岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

捺印



平成28年1月4日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナオオサキブンカレキシホゾンカイ
 団体名 大崎文化歴史保存会
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ イタノ タダシ
 代表者氏名 板野 督 [Redacted]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	「市民健康づくり」散策コース保存並びに広報活動
事業実施区域(小学校区)	庄内小学区
事業実施回数	新規 ・ <input checked="" type="radio"/> 継続 2 回目 (27 年度から)
課題	過去において、大崎地区の先人たちが「大崎八十八か所遍路道」の開山100年祭を大正8年に実施。そのころ、へんろ道には岡山市内外から多くの参拝者があった。そして、東京オリンピックの2020年には、開山200年祭を計画しており、その実現のため多くの市民の協力・支援を求めたい。そこで、遍路道を「岡山市民の健康づくり」散策コースとして甦らせるために大崎文化歴史保存会を組織。昨年度、念願の「大崎古墳群めぐり」ウォーキングコース・マップが完成した。このマップを活用し、岡山市内への広報活動を重点的に実施する。

事業の目的・目標	<p>大崎地区は、古墳時代後期より栄え、奈良時代の「大崎麿寺跡」、そして、戦国時代の「文英石仏」（最大級の延命地蔵）など歴史遺産が豊富である。</p> <p>江戸時代末期には、大崎村の初代有松万助が20数個の古墳群の石室などを利用した「へんろ道」を開拓した。これら数多くの歴史遺産が大崎地区の若い世代に伝わっていない。また、近隣地区でもそのような歴史を知らない人々が過半数を超えた。今、これら歴史遺産の保存や広報活動をしなければ、200年近く続いてきた「大崎へんろ道」が消えてしまう恐れがある。そこで、この「へんろ道」を「岡山市民の健康づくり」ウォーキングコースとして甦らせ、これからの高齢化社会において、「健康への不安」解消のために活用する。昨年度、完成した「コース案内マップ」を活用し、広報活動に力を入れる。</p>
事業の内容	<p>昭和12年編纂の「吉備郡史」によると、大崎八十八か所は「古墳などを利用し、それぞれの歴史的価値も大きく、保存に値する歴史遺産」と記載されている。</p> <p>広く岡山市民に知らせるため、案内看板及び、へんろ道の順路案内看板を設置し、年2回、「散策コース」を歩く会を開催する。</p> <p>昨年度完成した「案内マップ」を高松公民館、岡山市高松地域センター、JR高松駅、JA高松支所などに置き、広報活動も充実させる。</p>
期待される成果	<p>自然環境の良い大崎地区を岡山市民に広く知ってもらい、1周2Km、歩いて2時間の散策コースを健康づくりのため、歩いてもらい健康づくりに貢献する。</p> <p>助成金のお陰で、昨年度完成した「案内マップ」は、「見ると、行ってみたくなる」ような素晴らしいマップになったので、その効果を非常に期待している。</p>
企画などの工夫	<p>高松公民館との共催で、「古墳めぐり」ウォーキング会や、中学生対象「大崎八十八か所遍路トレイルランニング実施。</p> <p>大崎麿寺～文英石仏コースは毎年、多くの市民が参加、親しんでいるので、そこから続く「大崎八十八か所遍路」コースは健康づくりに貢献するのに最適である。</p> <p>そして、岡山市道路計画課の発行している「てくてくロード」マップに、大崎八十八か所遍路につながるコースを追加するようお願いしている。</p>
事業の情報公開	<p>大崎町内には、全戸へ情報発信（大崎文化歴史保存会の会報等）している。</p> <p>高松中学校区に対しては、高松公民館広報誌「まつかぜ」を利用し、大崎文化歴史保存会の活動を伝えている。そして、昨年度完成した「案内マップ」の中に、八十八か所遍路道にある88のすべての札所（石仏）についての状況がわかるような「大崎文化歴史保存会のホームページ」を開設したいと思っている。</p>

<p>次年度以降の予定</p>	<p>「岡山市民の健康づくり」ウォーキングコースを充実させ、2020年には、開山200年祭を開催し、記念碑も設置したい。 「案内マップ」を活用し、毎年、散策コース利用者の増加、あるいは、「へんろ道」参拝者を増やし寄付金により保存会活動を継続したい。</p>
<p>その他PRしたい点</p>	<p>高松地区の庄内小学校区の一つの町内の有志の活動として、始まった「大崎文化歴史保存会の活動」ではあるが、戦前、特に明治・大正時代には、岡山市内に限らず倉敷市からの参拝者もあり、相当栄えた実績を持つ歴史遺産である。従って、保存会の活動への参加は制限はなく、昨年より「へんろ道」の草刈りボランティア活動への参加者が増加し、高松中学校の生徒たちが「トレイルランニング実施」できるだけの安全性も確保されている。</p>

収支予算書

◆収入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	251200	25000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金			
参加者負担金		10000	傷害保険など
協賛金			
寄付、他収入	62800	15000	参拝者お賽銭など
計	314000	50000	

◆支出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
食糧費		15000	飲料代
消耗品費	21216	20000	名前入りボールペンなど
原材料費	36476	5000	案内看板など
印刷製本費	254448		
保険料	1060	10000	参加者傷害保険
計	314000	50000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

事業スケジュール (全国会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	ウォーキングコースを歩く会 (成人対象)
5月15日 (日)	「田んぼの学校」開校式と田植え
6月	総会と学習会
7月17日 (日)	棠山子つくりと防鳥ネット張り、「棠山子コンクール」の実施
8月	
9月 4日 (水) 9月18日 (日)	稲刈り、脱穀、乾燥機に入れる 餅つき大会と「田んぼの学校」閉校式
10月9日 (日)	保存会第6回子ども餅つき大会
11月	反省会 役員による「へんろ道」清掃活動
12月	トレイルランニング実施 または、ウォーキング会実施 役員会
1月22日 (日)	「へんろ道」清掃ボランティア
2月	
3月	役員会